

# ようこそ 京都へ

## 再開のつどいへ



急速に秋らしくなってきました。  
 長いつどいの休みのなかでも初めての  
 秋のつどいです。  
 ゆっくり、ゆとり 子どものこと、自分の  
 こと、話して下さい。  
 思いを話して聴きあって、  
 大切な一日に なりますように。  
 心が疲れたときに、帰れる記憶に  
 なりますように。

京都では3年前に始めていたつどいの準備もコロナでやむなく  
 中断したときから温めて、やっとこぎつけたつどいです。

つどいづくりの仲間がふえてつなびの輪が分厚くたかま  
 になります。いろいろと以前どおりにはいきませんが、事務局・  
 実行委員一同 精一杯つとめます。

全国の仲間とともに語りあいましょう。



速報は交流と連絡をします。読んで下さいね  
みなさんの感想をお寄せ下さい(とくおはします)

### ひろば

について。  
 (1)こいとあそびの  
2つのひろばがあります  
 (1)こいのひろばは  
 当事者・青年以外(お遠慮下さい)  
 あそびのひろばは  
 いろいろあそびものを用意しています  
 子どもにも参加できます。

疲れたら (2階)  
 おやすみどうぞへどうぞ。  
 ちびとあそびできるスペースです  
 具合が悪くたまった方も  
 2階の和室研修室(2階)へ  
 緊急を要するときは  
 本部へお知らせ下さい。

### 写真・録音はNG

についてお願い  
 いろんな思いや事情をかわり  
 来られる方もあります。  
 SNSへの画像投稿は  
 ふくめて絶対にしないで下さ  
 いますようお願いいたします  
 本館の記録・写真係は腕章をつ  
 けようから再々おにしています

困ったときは↓

### つどい本部

は  
 コンビションホール  
 左手の一番奥です。  
 ホールの入り口時  
 (お受付)でも  
 一部の業務をおこないます



### 総合案内

受付の右はしに開設します  
 お気軽に相談下さい

### 報道の方は

必ず本部へお申し下さい  
 よろしくお願いします



## 参加者のみなさんへ



ようこそおいでくださいました。実行委員会一同、心から歓迎申し上げます。  
「全国のつどい」は「語りあおう 学びあおう 子どもたちをまん中に」を合言葉に開かれる交流と学びの場です。一人ひとりの思いを大切に、参加者みなで、心にのこる「つどい」を作りあげていきましょう。実行委員会、事務局も一生懸命つとめます。至らないところもありますが、どうぞご協力ください。

### 参加者はみなさん対等・平等です

- ① 親も、当事者も、教職員も、研究者も・・・、参加者はみなさん対等・平等です。
- ② “名刺がわり”の名札が資料袋に入っていますが、付ける、付けないは自由です。また、ニックネームなどでもOKです。「つどい」ではお互いの思いを尊重しあいます。名前を言いたくない。話したくない場合は、聴いているだけでもいいのです。
- ③ 「つどい」は、「交流と学びの場」ですから、何かを決めたりすることはしません。
- ④ 参加分科会の希望を変更しても差しつかえありません。どんな分科会か、内容がわかりにくい場合は、スタッフにおたずねください。分科会の参加人数が多い場合は、分科会に分かれる場合もありますが、どの分散会に入るかは自由です。

### お子さまをお連れの方へ

- ① 会場の都合により、主催者での保育はありません。要項で案内をさせていただいております。
- ② 原則、小学生以上のお子さまは、「ひろば」などでおすごしいただけます。  
「ひろば」は、自由に気持ちよくすごしていただく出入り自由な場所です。保育ではありませんので、保護者の方はお子さまと話し合いをしていただき、安全面については各自で配慮をお願いします。小学生の保護者の方は必ず一緒に「ひろば」に行き、担当者と顔を合わせてください。

### その他

- ① スタッフは、オレンジ色のリボンを身につけています。お困りごと、ご相談は遠慮なくスタッフにお声をおかけください。
- ② 貴重品・荷物は各自で責任を持ってください。
- ③ 救護室を用意しております。ご気分が悪くなった方は、本部へご連絡ください。
- ④ 「つどい」開催に際して、2日間の行事保険に入っています。
- ⑤ 開催中は、禁煙にご協力ください。喫煙の際は、指定場所をお願いします。
- ⑥ 写真撮影（SNSへの画像の投稿を含む）、録音など、絶対にしないで下さい。  
※会場は他の団体・一般市民も利用されています。  
つどい参加者だけが利用するものではありませんのでご留意をお願いします。



## 22年度の 小・中学生 不登校数

299,048人

2023年10月4日に  
文部科学省が発表。

〔前年度は  
244,940人でした。〕

小学生 ... 105,112人  
中学生 ... 193,936人

不登校児童生徒数は  
10年連続で増加し、  
過去最多となっています。

詳しいデータは、  
文科省のホームページに  
掲載されています。



9月3日 毎日新聞に!

## 登校拒否や不登校 悩み語る

登校拒否や不登校に直面している当事者や保護者、教職員や支援者が交流する「第25回登校拒否・不登校問題全国集いin京都」が10月7、8の両日、亀岡市の生涯学習施設「ガレリアかめおか」で開かれる。記念講演、基礎講座、テーマごとの12分科会などがあり、実行委員会は「当事者が悩みを語り合い、『苦しいのは私だけではない』と気付き、支え合える場にした」とも構いませんと参加を呼びかけている。コロナ禍のため、今回は2019年以來の開催となる。7日は「子ども・若者の生きづらさと自己肯定感」と題して心理

### 来月7、8日・亀岡

臨床家で立命館大名誉教授の高垣忠一郎さんが記念講演。8日には家庭や学校での保護者や教職員の役割などを学ぶ基礎講座がある。両日にわたって開かれる分科会には、参加者が語り合おうがメイン。小中高それぞれ現状、保護者と学校の

### 全国の当事者や関係者ら交流

関わり方、障害、居場所作り、医療、進路などテーマごとに12分科会がある。出入り自由で複数の分科会に参加できる。  
参加費は両日5500円、1日のみは3000円。青年・学生は両日2000円、1日1000円。8歳以下は無料。参加申し込みは実行委員会ホームページ (<https://tsu-doizenkokuren.jp/>) などで必要事項を確認し、ホームページもしくは郵送やFAXなどで。締め切りは9月15日だが、締め切り後も参加の相談を受け付ける。申込先などの問い合わせは実行事務局 (0660・4483・06114)。  
【藤田文彦】